

地域農業を盛り上げよう！「農業の応援団」特別企画

7月24日（日）せきてらすにて「アグリミーティング&地産地消マルシェ」が開催され、「地域農業の活性化」をテーマとした取り組みの発表をしました。家庭クラブからは、今年度で5年目となる「水田保護による環境保全、米粉の認知・普及活動」と「子ども食堂での食育活動」について発表を行いました。

【農業の応援団とは？】

地元の農畜産物を「食べて応援」、「作って応援」し、地域の農業をもっと元気にする岐阜県JAグループが進める活動です。今年度、関高校は「農業の応援団特別団員」の委嘱をうけ、地元農産物のPR活動に取り組んでいます。地産地消の視点から地元の農畜産物を購入して食べたり、手軽な野菜栽培、レシピ開発など私たちができることを行い、地域農畜産物の良さを広め、農業を応援しています。



米粉・米粉パスタコンクール 作品募集

米粉・米粉パスタ料理コンクールは、関高生に米粉や米粉パスタを使った料理をする機会をもって欲しいとの願いから、2018年より始まり今年で5回目を迎えました。

6月27日（月）に「JAめぐみの」様、「農業生産法人PLUS」様、「関市農林課」様をお招きし、研究補助の授与式を行いました。



JAめぐみの（関市若草）と米粉加工食品を手掛ける農業生産法人PLUS（同市千足）は、夏休みの課題として米粉や地元食材を使ったレシピ開発に取り



「地産地消」の実践と、「米粉の認知・普及活動」に挑戦します！
助成いただきありがとうございます。

JAめぐみのやPLUSから商品券や米粉を受け取る生徒らに「関市桜ヶ丘 関高校」
組む関高校（同市桜ヶ丘）の2年生に役立ててもらおうと、農産物直売所「とれっただひるば関店」で利用できる商品券や米粉、米粉パスタを贈った。
同校では2年生全員が家庭クラブに入り、地産地消や米の利用促進、環境保全を目的に、米粉や米粉パスタを使ったオリジナル料理を競うコンクールに挑戦している。提供されたのは500円の商品券258枚や米粉120袋、米粉パスタ49袋で、生徒たちのレシピ考案を応援する。
同校で贈呈式があり、代表生徒2人らが出席。家庭クラブ会長の3年西村花菜さん（17）は「フードロス削減や地産地消の大切さを伝える取り組みにも生かしたい」と話した。（根尾文悟）